



Index

ニッセイ予防医学センターをご紹介します…	2
診療科案内 神経内科…	5
診療科案内 神経科・精神科…	5
糖尿病・内分泌センター	
ウィークエンド糖尿病精査入院のご案内…	6
糖尿病患者会のご案内…	7
ニッセイ夏休み子ども医療体験2014…	8
お薬トピックス…	9
ナースの奮闘記…	10
栄養管理室通信…	10
開放型病院登録医紹介…	11
あったかサポートセンターからのお知らせ…	12

トピックス

延命長寿のために！ ニッセイ予防医学センターの紹介

長寿社会を笑顔で健やかに生きるための健康づくりは、日頃からの体調管理が必要です。定期的な健康診断を受けて楽しい毎日を送みましょう。

ウィークエンド糖尿病精査入院を始めました

神経内科、神経科・精神科のご紹介

あったかサポートセンターからのお知らせ

●ニッセイいい皮膚の日

毎年好評の、「いい皮膚の日」を以下の通り開催いたします。皮膚に関する、予防や治療に役立つ情報満載のフェアとなっておりますので、みなさま是非お立ち寄りください。

日時：平成26年11月12日(水)
13:30～15:30

会場：日生病院 1F外来ホール
参加：参加費無料 予約不要

医療相談や
看護相談も
あります

プログラム

- ミニコンサート
- 医師による講演会「高齢者の皮膚トラブル」
- 看護師による講演会「頭皮のケア」「ステロイド外用剤の上手な使い方」

●ニッセイ糖尿病フェア ～糖尿病とがんの気になる関係～

毎年好評の、「ニッセイ糖尿病フェア」を以下の通り開催いたします。糖尿病を身近に感じ、予防に役立つ情報満載のフェアとなっておりますので、みなさま是非お立ち寄りください。

日時：平成26年11月20日(木)・11月21日(金)
11:30～13:30(両日とも)

会場：日生病院 1F外来ホール / 参加：参加費無料 予約不要
糖尿病をテーマに各ブースを出展いたします。

ブース内容

- 血糖値を測ってみよう!
- どんなお薬飲んでますか?
- 糖質ダイエットと市販食品のからくり?!
- 頸動脈エコー体験!動脈硬化を調べませんか?
- 座ってできる簡単体操教室
- 何でも医師に相談してみよう!

●平成26年度 第2回 ニッセイ市民健康セミナー

長引くせきや喘息をお持ちの方、また子供の病気に関する親の関わり方等、患者様、地域の方々を対象に、病気に対する理解を深めて頂くことを目的として、ニッセイ市民健康セミナーを開催させていただきます。皆様からのご質問をお受けする時間も設けております。ご家族の方もお誘いあわせの上、是非ご参加ください。

日時：平成26年12月6日(土)
14:00～15:30

会場：日生病院 別館講堂
参加：参加費無料 予約不要
司会：日生病院 院長 笠山宗正

プログラム

- 1.「長引くせきと喘息」副院長兼総合内科部長 立花 功
- 2.「子どもの病気に関する親の関わり方」小児科部長 中西 康詞
- 3.「解熱剤の使用の注意(成人・小児)」薬剤師 牧 秀美

お問合せは、あったかサポートセンター[06-6543-3581(代)]へご連絡ください。



【表紙写真】

弘世助太郎の胸像

明治4年、弘世助三郎(日本生命創設者)の嫡男として滋賀県に生まれる。父の退任に伴い明治41年日本生命取締役に就任した。昭和3年日本生命第3代目社長に就任後、共存共栄・相互扶助の精神のもと日本生命を保険会社業界首位の座に導き、のちに日本生命済生会を設立し、日生病院を開院に導いた。日本生命済生会第2代目理事長も務めた。

外来診療・受付時間

(再診の方は、必ず再診機に診察券を投入してください)

平日(月曜日～金曜日)			
受付時間	初診	午前 8:30～11:30	午後 13:00～15:30
	再診	7:30～11:30	12:00～15:30
診療時間		8:45～	13:30～

※初診の場合は、紹介状をお持ちください。紹介状がない場合は、保険外併用療養費(選定療養費)2,700円がかかります。
※診療科によっては、完全予約制や休診の日もあります。
詳しくは各診療科におたずねください。

休診日 土曜日、日・祝日、年末年始



当院では病院敷地内全面禁煙となっております。
ご来院の皆様には、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

交通アクセス

- 地下鉄：
中央線・千日前線
「阿波座駅」
下車西側「6号出口」「5号出口」
徒歩約3分
- 自動車：
阪神高速道路では、
「信濃橋」「汐見橋」
「西長堀」「阿波座」
「中之島西」
出入口が便利です。



公益財団法人 日本生命済生会付属

日生病院
(公財)日本医療機能評価機構認定病院



公益財団法人 日本生命済生会

総合健診クリニック
ニッセイ予防医学センター
(社)日本病院会 人間ドック学会 人間ドック・健診施設機能評価 認定施設

〒550-0012 大阪市西区立売堀6丁目3番8号

TEL 06-6543-3581(代) FAX 06-6532-6482

http://www.nissay-hp.or.jp

◆人間ドック ◆各種健診

※月～土曜日(完全予約制)

TEL 06-6532-6401(代) FAX 06-6532-6402

http://www.nissay-yobouigaku.jp



日生病院は
乳がんの早期発見・
検診・治療の大切さを伝える
ピンクリボン運動を
応援しています。

主な
検査項目

人間ドック(標準コース)

尿検査・便検査・身体測定・問診・
血圧・血液検査・胸部X線・心電図・
聴力・呼吸機能・眼底・眼圧・腹部
超音波・胃腸X線・医師診察等

専門ドック

肺ドック(胸部CT)
脳ドック(頭部MRI等)

オプション検査

婦人科検査・乳がん検査
オプションエコー(心臓・頸動脈他)
ABI検査
腫瘍マーカー・アミノインデックス・
遺伝子検査



▲マンモグラフィー



▲超音波検査器



▲胃腸X線撮影装置



▲プライバシーに配慮した
採血ブース(上)と問診ブース(左)

2 どのような検査を受けられるのですか？

一般的な健康診断の検査に加えて、眼圧測定、眼底検査、呼吸機能検査、腹部超音波検査、胃腸X線または胃内視鏡検査等を行っています。また、専門ドックとして、脳血管障害の予防を目的とした脳ドック、肺のさまざまな疾患の早期発見を目的とした肺ドック等も行っています。さらに希望者にはオプション検査として、女性向けの婦人科検査や乳がん検査、胸部CT※、腹部CT※、脳MRI※、心臓超音波検査、頸動脈超音波検査、ABI検査、がんのリスクを見るアミノインデックス、生活習慣病やがんの罹患予知のための遺伝子診断等もお勧めしています。(※は日生病院で実施)

1 人間ドックの重要性を教えてください。

健康維持には病気の早期発見と早い段階からの治療が重要であることはご存知のことと思います。日本ではほぼ2人に1人ががんにかかることがデータで示されていますが、大部分のがんは早期の治療により完全に治癒することが可能な時代になっています。また、生活習慣病においても、病気を重篤化させないために、早期からの生活習慣の改善、特に食事療法、運動療法の有効性が明らかになっています。そのためには、人間ドックをはじめとする健康診断にて現在の自分の健康状態を知ることが非常に重要ですが、日本における健康診断の受診率は

欧米に比べて低く、日本の高い医療水準を十分活用されていないことが残念です。長寿社会を健康で送るためにも、人間ドックを是非活用して頂きたいと思っています。当センターでは、人間ドックや生活習慣病予防健診、定期健康診断等を中心に、健康状態のチェックと病気の早期発見、更には食事療法や運動療法等の生活指導も行い、疾病予防から治療勧奨までの一貫した予防医療を実践しています。更に隣接する日生病院と一体となり、精密検査や治療の速やかな対応を可能とする体制をとっており、疾病の「二次予防」「早期発見早期治療」を通して、地域医療、地域福祉の向上を目指しています。

主な健診
メニュー

- 人間ドック
(標準コース・女性専用ドック・
一泊ドック・スペシャルドック)
- 専門ドック(脳ドック・肺ドック)
- 大阪市国民健康保険
「1日人間ドック」
- 大阪市がん検診
(胃がん・大腸がん・肺がん・
子宮がん・乳がん)
- 協会けんぽ
「生活習慣病予防健診」
- 定期健康診断・
雇用時健康診断・
海外渡航健診
- 特定健康診査・特定保健指導



今回は、中村センター長に、予防医学センターの取り組みやビジョンについて、聞きました。

ニッセイ予防医学センターをご紹介します

日本生命済生会 総合健診クリニック

平成15年4月に健診部門と人間ドック部門を統合して予防医学センターとして設立され、平成20年4月より現在の場所にニッセイ予防医学センターとしてリニューアルオープンして現在に至っています。長寿社会を笑顔で健やかに生きるための健康づくりに、健診活動を通してお役に立てるよう取り組んでいます。

3 他の健診機関と比較して何か特徴はありますか？

① 日生病院のバックアップ体制

隣接の日生病院と一体となつて、予防から治療までの一貫した医療サービスを提供しています。健康診断の結果、精密検査や治療が必要な場合には、予防医学センターから日生病院の各診療科に直接診療予約が可能で、紹介状やX線フィルム等の手配も不要で、スムーズに受診して頂ける体制を整えています。さらに、日生病院内に、要精密検査、再検査を指示された受診者を対象とする「健診精査内科」を設置し、専門診療科や精密検査への橋渡しの機能を果たすとともに、希望者には健診結果のより詳しい説明や生活指導も行っています。

② 女性に優しい人間ドック

女性の受診者様にリラックスして受診して頂けるよう、月2回レディースデイを設け、受診者を女性に限定し、医師・技師・看護師等、女性スタッフのみで運営する女性専用ドックを運営しています。

最新情報をご案内します

診療科案内

神経内科

あさの あきひろ
部長：浅野 彰彦



日生病院の神経内科は(旧)循環器内科・神経内科より平成25年4月に分離独立し、日生病院の5番目の内科部門として発足しました。立ち上げ当時は私と仁科医師の二人体制でしたので、日勤帯の全ての曜日の外来をカバーすることも困難で皆様にも御不便・ご迷惑をお掛けしたましたが、同年6月より大阪医科大学第一内科神経内科より佐藤医師が着任し、月曜日から金曜日までの全ての時間帯で外来診察枠を設けることが可能となりました。3名体制になってからは、一日平均で入院患者様が16名、外来受診患者様が30名弱という規模で鋭意診療を行っています。

入院患者様の主な疾患は、脳梗塞を中心とする血管障害、パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの変性疾患ですが、各種原因による末梢神経疾患、脳炎・髄膜炎、てんかんなど多彩な神経疾患の患者様の診察をしています。

とかく精神科や心療内科と混同されがちな神経内科ですが、しびれ・脱力・ふらつき・頭痛などの症状がありましたら、どうぞ神経内科に受診いただけたらと思っています。

神経科・精神科

たかはし れい
部長：高橋 励

神経科・精神科は、現在、うつ病・不安障害・軽症の統合失調症など一般精神科診療のほか、認知症(木藤)、てんかん・脳波解析(青木)、慢性疲労・疼痛性障害(高橋)など科学研究の成果を生かせる分野で専門診療を行っています。また、産業精神医学(江川・高橋)、丸山加奈心理士の協力を得て緩和医療(高橋・青木)など社会的ニーズの高い分野にも取り組んでいます。患者様の身体疾患に由来する精神医学的問題(リエゾン精神医学)は医師全員が担当しています。

さて精神医学領域においても、本邦は学科研究や向精神薬開発などが海外でも少なからず高い評価を受けています。この領域では環境調整療法や重症うつなどに対する電気・磁気刺激療法などを除き手技的な治療法が少ないこともあり、薬物療法が前景となっています。薬物療法は個人の力では抗いがたい脳機能の変化(ストレス、加齢、てんかん、機能性精神疾患の一部など)を是正することで、こころの健康を取り戻す手助けをします。

しかし脳機能の変化が大きくてもこころが健康な場合もあり、必ずしも脳機能や行動の標準化のみが健康の定義とはいえません。脳とこころの関係は一面、科学を超えた課題でもあります。誰もが高齢化とストレスの問題をあまり抱える社会情勢となりましたが、これはすなわち誰もが、この課題に直面しているともいえます。

当科も特にこの課題を念頭におきつつ、皆様のこころの健康を取り戻し維持する診療を目指します。ときには患者様にも、より主体的な診療へのかかわりをお願いすることが多くなるとは思いますが、今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。



4 産業医の受託やメンタルヘルスの相談もできるのですか?

近年、経済情勢の変化、労働安全衛生環境の変化に伴い、産業医の役割・責任が高くなっています。従業員の健康管理、作業環境、労働衛生教育等、の重要性が益々強くなってきています。当センターでは、企業におけるメンタルヘルスも含めた健康管理、生活指導等を行う産業医の受託も行っています。

平成22年よりメンタルヘルス事業を開始し、ストレスチェックの受託、解析を行い、個人のみでなく職場環境の改善にも活用されています。今年7月からは、臨床心理士に加え、精神科医師による医療相談、指導

③ 健診精度の向上

高い診断能力と健診精度を確保するため、放射線専門医によるX線画像読影、専門医・専門技師による検査、常勤専門医によるダブルチェック等を実施しており、質の高い人間ドックを実施しています。

5 最後にセンター長からメッセージをお願いします。

「がん」の早期発見、早期治療のためには、また病気にならない、より重い病気にならないために、まず自分自身の現在の健康状態を知ることからはじめてみませんか。その上で、生活を見直し、食事内容、運動量を見直すようにしましょう。その為には、必要な項目を2〜3時間で検査ができる人間ドックをお勧めします。

より健康的な生活をより長く送れるよう、年に一度は必ず人間ドックを受けるようにしましょう。



当日参加いただいた子ども達の感想の一部をご紹介します。

体験したことの感想

- 一番興味を持ったのは薬剤師さんの仕事で、薬を調合して、その薬で私たちの病気が治ると思うとすごいと思った。
- 人が倒れたらすぐに声をかけて、心臓マッサージをしようと思った。
- 赤ちゃんは首がちゃんと固定されていないことがびっくりした。

医療従事者に対する感想

- お医者さんや看護師さんは何年も勉強していて病院にいますので、すごいなあと思いました。
- みんなの命のために、とてもがんばっていると思った。
- お医者さんだけでなく、たくさんの方が協力して働いていることが分かった。
- ドラマなどで見たよりかっこよかった。また楽しそうにお仕事をしている。

自分の将来について

- 先生の授業を聞いて、「命を大切にすること」、「命を守る」、「命をあずかる」ということについて考えました。
- いろいろ体験ができて良かった。私もがんばって努力して、人の命を助ける人になりたいです。
- 将来は薬剤師になりたいと思っていたが、この体験でほかの医療の仕事にも興味をもった。

日生病院内で医療スタッフの指導に従ってさまざまな体験をしていただきました。このような医療体験を通じて、生命と健康の大切さを実感し医療の果たす役割について、子ども達に理解を深めてもらいました。今後とも、引き続き医療を通じ地域社会へ貢献していきます。

ニッセイ夏休み こども医療体験2014

医療は人々の健康といのちを守るために重要な役割を果たしています。病院・診療所・保健所などの現場では、医師・看護師だけでなくさまざまな職種の人々がチームとして働き、医療を提供しています。

優秀な医療人は、優れた学習能力や技量のみで育成されるべきものでなく、いのちを尊ぶ精神や、病に苦しむ人々に対する思いやりの心を兼ね備えることも重要です。

医療崩壊が叫ばれる中、将来のわが国の医療を背負って立つ若者たちを育成することも、私たち医療に従事する者の努めです。日本生命済生会では、7月25日と8月1日、「ニッセイ夏休みこども医療体験2014」を開催し、大阪市中央区、西区の小学校から47名の児童に参加頂きました。

これは、地域社会の貢献を目的として、小学校5・6年生（公募を通じた希望者）を対象に夏休み期間に2008年から毎年開催しているものです。こども達には、シミュレーターを使った腹腔鏡手術、看護業務や赤ちゃんの沐浴、薬剤の調合、リハビリテーションなど

インフルエンザ治療薬 のカタチ

お薬トピックス

冬に、40度の発熱や寒気、関節の痛みなどの症状が出ると、「あれ？インフルエンザかな？」と思うことがあります。病院へ行くと、棒状の検査キットで鼻の奥をグリグリ検査され、検査結果が陽性になると、「インフルエンザですね。お薬出しておきますのでゆっくり休んでください。」と医師から言われます。（検査結果が陰性でも、薬が出ることもあります。）

インフルエンザウイルスに対する薬は、4年前に2成分増えて、4成分になりました。薬の形は、カプセル、散薬、吸入薬だけだったのが、1日だけ吸入する薬や注射薬が増えて、治療の幅が広がりました。

インフルエンザ治療薬の中で、この薬が絶対1番いいというのはありません。体や病気の状態、今にかかっている他の病気や薬の特徴などを総合的に考え、薬を選ぶ必要があります。例えば、新しい薬で1度だけ治療する薬があります。大人の方は1本で2回吸入する薬を2日分もらいます。つまり、4回吸入するだけで治療は終わるというメリットがあります。しかし、呼吸がしにくい状態にある方は、きちんと薬を吸えない可能性があり、十分な効果が出ないデメリットが考えられます。

もらった薬がきちんと使えているかわからない、薬がうまく飲み込めないなどはありませんか？薬剤師は、薬の形など薬の特徴を把握していますので、その方にあった薬を医師に提案できることもあります。薬に関する疑問や質問がありましたら、ささいなことでも結構ですので、医師または薬剤師までお気軽にお尋ねください。

薬剤師：池田 久雄

開催要項

- 日時
平成26年7月25日（金）
午前9時～午後4時30分
平成26年8月1日（金）
午前9時～午後4時30分
- 対象者
大阪市西区・中央区に居住する小学校5・6年児童約20名（各日）
- 主な内容（予定）
授 業：「いのちと健康を守るために ー医療の果たす役割、
「生命の誕生 ー成長ー老化と病気」、「病院で働く人々」
実 習：「鏡視下手術にチャレンジ」、
「あかちゃんに沐浴させよう・あかちゃんの世話をしよう」、
「AED」を使って…、たいへんだ、人が倒れている」
体 験：「看護師体験」、「病院入院食ってどんなの？」
病院見学：放射線、薬剤部、検査部、リハビリ、
予防医学センター 等



四ツ橋診療所(西区)

やす い きよし
安井 潔先生

標榜科 内科、循環器内科、
消化器内科、放射線科

四ツ橋のオフィス街の中に位置する当院の発祥は昭和47年になります。当時はまだ付近に会社や住宅は少なかったようですが、今では多くの企業や高層マンションが周囲に集まっております。

現在、内科医師10名が2診療体制で診療しており(水曜日の午後のみ1診)、生活習慣病を中心として循環器、消化器、呼吸器の診療にあたっています。日常のちょっとした変化や不安なこと、体調不良はもちろんのこと、抗加齢医学にも力を入れております。精神的なケアに関してはカウンセラーによる相談も行っております。安心、快適な生活を送れるよう皆様と一緒に考えながら、オアシスになれるような心がけております。検査は血液、尿、X線、CT検査、エコー検査、心電図、ホルター心電図、負荷心電図、骨量、動脈硬化検査等随時行い、精密検査や入院加療が必要な方には地域の病院との密な連携により対応させていただきます。常に**全人的な医療**を目標とし、これからも日々の診療に取り組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

〒550-0013
大阪市西区新町1-22-9
電話:06-6532-0148
FAX:06-6533-6538
http://www.yotsubashi-cl.com

休診日:土曜日の午後、日・祝日
アクセス:地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅下車、②番出口より徒歩約3分
地下鉄長堀鶴見緑地線西大橋駅下車、②番出口より徒歩約2分
地下鉄御堂筋線心斎橋駅下車、②番出口より徒歩約8分

		月	火	水	木	金	土	日
午前	9:30~12:30	○	○	○	○	○	○	△
午後	2:00~ 4:30	○	○	○	○	○	△	△

島野医院(西区)

しま の なおと
島野 直人先生

標榜科 内科、外科、肛門外科、
婦人科、リハビリテーション科
(現在は休診中)

島野医院は、新なにわ筋沿いの南堀江(市営地下鉄西長堀駅、桜川駅から徒歩3分)にて開業しております。当院では風邪をはじめ、高血圧症・糖尿病・脂血症など慢性疾患や全身の疾病を診療致します。経鼻内視鏡などの各種検査から一般外傷、痔核や下肢静脈瘤に対する日帰りでの手術なども行っております。胃カメラ検査では、無痛内視鏡検査を実現するために鎮痛剤を使用し、これまで苦痛を伴ってきた胃カメラ検査のイメージを払拭できます。そして、超音波装置によって腹部や頸動脈など各部位でのスクリーニング検査も実施できます。「**私たちは地域のかかりつけ医**」を目指し、丁寧な治療や生活指導を行ってまいります。リハビリも行っておりますので、まずはお気軽にご相談下さい。

〒550-0015
大阪市西区南堀江4-4-20
アーデンタワー南堀江1F
電話:06-6533-0020
http://www.shimano-clinic.jp

休診日:水・土曜日の午後、日・祝日
アクセス:地下鉄鶴見緑地線西長堀駅下車、⑦番出口より徒歩約3分
地下鉄千日前線桜川駅下車、①番出口より徒歩約3分

		月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	△
午後	4:00~ 7:00	○	○	△	○	○	△	△

中山医院(港区)

なかやま とみ お
中山 富雄先生

標榜科 内科、整形外科、消化器科、
リハビリテーション科

昭和62年6月に市岡元町の地に地元に根ざしたかかりつけ医として開院し、約27年が経ちました。

現在は、昨年9月に旧医院の向かいに移転し、5台の駐車スペースを持つ車いす通院可能なバリアフリーの新医院になっています。内科整形外科的疾患を中心に診療しています。血液検査、尿検査、レントゲン(胸部、四肢、体幹)検査、腹部エコー、骨密度検査等が可能です。診療では、常に患者様の愁訴をよく聞き「ベストの治療」を心がけているので、場合によっては日生病院や他の病院に紹介することもあります。これからも**地域の皆さんのかかりつけ医**として、診療に努めていきたいと思っています。

〒552-0002
大阪市港区市岡元町2-4-16
電話:06-6584-8743

休診日:火・木・土曜日の午後、日・祝日
アクセス:JR大阪環状線・地下鉄中央線弁天町駅下車、出口より徒歩約8分

		月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	△
午後	5:15~ 7:30	○	○	○	△	○	△	△

開放型病院登録医紹介

Team
Nissay

開放型病院登録医とは
病院の医師と連携しながら共同で患者様に最良の医療を提供するため、病院に登録していただいている医院、診療所の先生のことです。日生病院では、320名の先生方に登録していただいています。(平成26年9月末現在)

ナースの奮闘記

入院患者様や
ご家族様との日々

元気に退院される姿が
なによりもうれしいです!



やすひろ ち か
3階病棟: 安廣知香

私は、日生看護専門学校を卒業後、当院に就職して13年目になります。
入職後の8年間は総合内科・血液化学療法内科がメインの5階西病棟に所属していました。現在は消化器外科・乳腺外科・泌尿器科・婦人科をメインとした3階病棟に所属しており、もうすぐ4年が経過します。
当病棟には主に手術を受けられる患者様が入院されています。手術前日には手術までの流れや術後の状態がイメージできるように、わかりやすく説明することを心がけています。
手術当日は異常の早期発見ができるよう、こまめに訪室し、病状の変化を観察したり、できるだけ不安や緊張がほぐれるように関わらせて頂いています。
近年、腹腔鏡の手術が主流になり、患者様も手術の傷跡が小さくすみ痛みも思ったよりも少ないとおっしゃる方が増えています。手術を受けられる患者様は、比較的入院日数が短いです。元気に退院される姿がなによりもうれしく、やりがいを感じている日々です。また、手術療法だけでなく、化学療法や緩和治療などを受けられる患者様も当病棟には入院されています。患者様やご家族様と関わる中で日々考えさせられることも多くあります。その経験を活かし、今後も看護に取り組んでいきたいと思っています。

栄養管理室通信

化学療法と選択食

管理栄養士 糖尿病療養指導士: 出口 暁子



当院は癌疾患の基幹病院として、多種の癌治療に取り組んでいます。

癌の治療方法のひとつに化学療法があります。その副作用のひとつに食欲不振や味覚異常、口内炎などの症状がみられます。

当院では、化学療法中の食欲不振に対応するため、選択食(12品)をはじめました。少しでも多く召し上がっていただき、体力回復をして頂くことを、期待しています。



(選択食一例)